

令和3年度当初予算 主要事業概要（教育費）

かつしか教育プラン（2019～2023）の「みんなで育ちあう「かつしか」で、自信と誇りあふれる人づくりを進めます」をコンセプトに、4つの基本方針に基づき、主要事業を推進していきます。

◆基本方針1

生きる力を育む、質の高い学校教育を推進します

【総合的な学力向上】

指導室（92,066千円）

ICTの活用による個別最適化した子どもの学びや、PDCAサイクルに基づいた教員の授業改善の取組を総合的に推進します。

また、ICTを活用した教員の指導力向上や子ども一人一人に応じた学力と情報活用能力の向上のための取組を進めます。

さらに、小学校の学習指導補助員の増員、中学校における全校共通の家庭学習の取組、子ども1人1台のタブレット端末を活用した自学自習等の取組を進めていきます。

【体力向上のための取組】

指導室（11,884千円）

子どもの体力の一層の向上のため、「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、学校で子どもが運動する機会を増やします。

また、体育の授業を充実させることで、運動好きの子どもの育成と体力の向上を図ります。

さらに、小学校においては外部指導員を活用し、運動の意欲を高める取組を実施します。

【東京2020オリンピック・パラリンピック競技観戦への取組】

指導室（1,573千円）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が、子どもたちのかけがえのない記憶として残っていくよう取り組んでいきます。

区立中学校の生徒を対象に、区内で行われる事前キャンプをはじめとするオリンピック・パラリンピック事業へのボランティア参加体験とあわせてオリンピック競技観戦を行う、区独自の東京2020大会体験事業を実施します。

◆基本方針 2

子どもの健全育成に向けて、家庭・地域・学校が協働して取り組みます

【学校施設を活用した放課後子ども支援事業】

放課後支援課（187,411千円）

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を各小学校内を中心に整備します。

3年度は、飯塚小学校に併設する飯塚幼稚園の廃止に伴い園舎を改修し、学童保育クラブとして整備していきます。

【学校地域応援団活動支援】

地域教育課（15,026千円）

学校の求めに応じ、地域の方々の力により学校を支援する学校地域応援団については、区立小・中学校73校全校の設置が完了したことから、今後は、ボランティアの確保など各校の地域コーディネーターが抱える様々な課題や悩みを解決するため、地域コーディネーターの情報交換の場や具体的な活動に資する研修会を開催するなど支援の充実を図ります。

また、参考事例となる活動内容の詳細を掲載した活動紹介集を作成・配付することにより多様な活動の促進を図ります。さらに、各学校地域応援団による活動を広報紙や区公式サイトに加え、区公式フェイスブックやツイッターで情報発信することなどにより、地域の方が気軽に学校の支援に参加できる環境づくりに取り組みます。

【家庭教育支援事業】

地域教育課（5,177千円）

子育て中の家庭や子どもの育成に関わる活動を行う保護者組織等に対して、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供、活動支援を行い、家庭の教育力向上の支援を図ります。

【課外活動指導員】

地域教育課（68,417千円）

中学校の部活動指導に当たる教員の減少や異動による部活動の休部又は廃部を防ぐことに加え、いじめの防止等や教員の負担軽減を図るため、学校と連携し部活動地域指導者（地域顧問指導者及び地域技術指導者）を配置し、部活動の円滑な運営を支援します。

また、「葛飾区運動部活動の在り方に関する方針」及び「葛飾区文化部活動の在り方に関する方針」に基づき、部活動地域指導者を積極的に配置し、部活動の活動時間における見守りや事故の未然防止等の管理体制の充実を図るとともに、いじめや体罰等を防止するため、部活動地域指導者を対象とした研修を実施します。

【わくわくチャレンジ広場の充実】

地域教育課（251,687千円）

全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごせるよう、対象学年や実施日時の拡大を図ります。

3年度は、令和2年度にわくわくチャレンジ広場の運営の一部を委託した小学校5校に加えて、新たに1校の運営を一部委託し、児童指導サポーターと事業者が連携して児童の見守りを行います。

◆基本方針3

子どもがいきいき学ぶ、教育環境づくりを推進します

【学校施設の改築】

学校施設担当課・学務課（5,279,160千円）

適切な学習環境を確保できるよう、学校規模の適正化や老朽化の状況などを踏まえ、地域バランスを考慮しながら学校改築を進めます。

また、学校は地域の核となる公共施設であり、災害発生時には地域の避難所としての機能も併せ持っていることから、改築に当たってはそれらの機能の強化に向け、地域の方々とともに検討しながら整備していきます。

3年度は、引き続き改築・改修を進めるほか、柴又小学校、宝木塚小学校、常盤中学校で基本構想・基本計画の策定に取り組みます。

（1）改築校

東金町小学校、高砂けやき学園高砂小学校・高砂中学校、
水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校

（2）一部改築・改修校

本田中学校、西小菅小学校

（3）3年度より改築事業に着手する学校

柴又小学校、宝木塚小学校、常盤中学校

【学校体育館への冷暖房機器の設置】

学校施設担当課（534,933千円）

安全で適切な教育環境を確保するため、また、災害発生時の地域の避難所としての機能を向上させるため、学校体育館に順次冷暖房機器を設置しています。

3年度は、小学校22校の体育館に冷暖房機器を設置します。

これにより、令和元年度から進めている全区立小・中学校（改築中の西小菅小学校を除く）の体育館への冷暖房機器の設置が完了します。

【計画的・予防的修繕の推進】

学校施設担当課（999, 300千円）

公共施設の更新費用にかかる財政負担の平準化を図るため計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。

施設の日常点検や各種調査結果を生かしながら、葛飾区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

（1）小学校6校

渋江小学校、青戸小学校、松上小学校、原田小学校、東柴又小学校、
花の木小学校

（2）中学校4校

金町中学校、奥戸中学校、双葉中学校、立石中学校

（3）旧学校1校

旧小谷野小学校

【教育情報化推進事業】

指導室（2, 041, 399千円）

子ども一人につき1台のタブレット端末配備をはじめとするICT環境の整備を進めるとともに、災害や感染症の発生等による緊急時においても、全ての子どもたちの学びを保障するため、授業や校務におけるICTの活用等、教育の情報化の推進を図ります。

3年度は1人1台のタブレット端末配備に伴い、通信環境の増強や学習支援アプリケーション等の活用を図るとともに、ICT支援員を週2日から週5日に増員し、子どもたちが支障なくICTを活用できるよう、環境を整えます。

また、保護者連絡用アプリケーションを導入し、学校と保護者間の情報共有の迅速化・確実化を図ります。

【かつしかグローバル人材育成事業（英語によるコミュニケーション能力育成）】

指導室（70, 453千円）

社会のグローバル化によって、「国際競争力」や「経済競争力」のある人材を育成することが、学校教育においてより一層求められています。この人材育成のベースとなる「英語によるコミュニケーション能力」の育成を計画的に行うことによって、これからのグローバル社会をたくましく生き抜く「豊かな人間力」を育成します。

（1）日光移動教室における体験的外国語活動の実施

小学6年生の日光移動教室にALTが同行し、英語で会話する時間を過ごします。

（2）夏季休業期間中の英語宿泊体験活動（イングリッシュキャンプ）の実施

福島県ブリティッシュヒルズにおいて、中学1・2年生100人を対象とした英語だけで生活する体験活動を行います。ロールプレイなどを取り入れている施設独自の体験プログラムにより、普段の授業では体験できない機会を過ごし、コミュニケーション能力の向上を図ります。

（3）葛飾教育の日を活用した「English Day」の実施

小学校において、ALTを活用した外国語科及び外国語活動の授業公開を行います。

(4) 中学生英語検定料助成

中学校2・3年生を対象に1回分の英語検定料を助成します。

(5) 地域英語教材の活用

区独自の小・中学生向け地域英語教材を活用した授業を実施します。

【学校支援総合対策事業(発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実)】

学校施設担当課・学務課・指導室・学校教育支援担当課(95,800千円)

発達上の課題がある子どもに対して教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全小・中学校で実施します。

3年度は「自閉症・情緒障害特別支援学級(固定学級)」を、高砂小学校及び高砂中学校に加え、小・中学校各1校の増設の準備を行います。

【学校支援総合対策事業(不登校対策プロジェクト)】

学校施設担当課・学務課・指導室・学校教育支援担当課(44,814千円)

不登校やその傾向にある子ども一人一人の状況に応じた支援策について、教員経験者と心理専門員が学校と定期的に協議し、学校が家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

また、登校できない状況にある子どものため、「ふれあいスクール明石(適応指導教室)」を運営するとともに、登校はできるものの教室に入ることのできない子どもを支援するための「校内適応教室」を、3年度は新たに一之台中学校と青葉中学校に設置します。

【いじめ防止対策プロジェクト】

指導室・学校教育支援担当課(5,535千円)

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、早期に組織的な対応を行います。

3年度は、学校の適切な初動対応のため、学校現場の相談を受け、問題解決を図るためのスクールロイヤーを導入します。

【学校支援総合対策事業(日本語指導の充実)】

学務課・指導室・学校教育支援担当課(42,728千円)

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣についての指導が必要な子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。

また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。

さらに、日本語の理解が十分でない児童・生徒及びその保護者と教職員との間の意思疎通を支援するため、日本語通訳を派遣します。

【放課後等におけるオンライン学習環境の整備及び支援の充実】

指導室・放課後支援課・中央図書館(84,210千円)

放課後等に1人1台のタブレット端末を活用してオンライン学習ができるよう、わくわ

くチャレンジ広場、私立学童保育クラブ、全図書館のWi-Fi環境の整備に取り組みます。

また、タブレット端末の操作に困ったときや、通信環境に関する保護者等からの相談に応じる窓口を設置します。

※ 別途、福祉費として育成課が子ども未来プラザ、公立学童保育クラブにWi-Fi環境の整備を行うための費用を計上。(6,188千円)

【学校施設総合管理業務委託の試行導入】

教育総務課 (51,398千円)

3年度から学校の用務業務について、より効率的かつ安定した業務執行体制を確立するため、学校用務業務を実施する学校施設管理業務委託を2校に、利用者調整会議の運営など学校施設開放業務の一部を学校用務業務と一体的に運用する学校施設総合管理業務委託を1校に試行導入します。

【学校施設開放業務等の一部委託化】

教育総務課 (38,957千円)

小・中学生を対象として土・日曜日、祝日に小学校26校の校庭を開放する遊び場開放、及び小学校6校で実施している学校施設使用申請受付等については、令和元年度以降、業務委託を導入し学校施設開放業務等の実施体制の強化を図っています。

3年度は、引き続き遊び場開放について9校、学校施設使用申請受付等について2校を委託します。

【就学援助における学用・通学用品費及び卒業記念アルバム費の支給額の引上げ】

学務課 (659,720千円)

経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して必要な援助を行う就学援助について、児童・生徒が学習に必要とする学用品の経費として支給する学用・通学用品費及び卒業アルバムの購入に要する経費として支給する卒業記念アルバム費の支給額を3年度から引き上げます。

【学用・通学用品費】

年額 (参考例)

小学校 4～6年生 (現行) 19,100円 → (引上げ後) 24,100円

中学校 2～3年生 (現行) 35,000円 → (引上げ後) 45,000円

【卒業記念アルバム費】

小学校 (現行) 7,300円 → (引上げ後) 10,000円

中学校 (現行) 7,300円 → (引上げ後) 8,300円

【多子世帯に対する経済的負担軽減策の実施】

学務課 (121,350千円)

多子世帯の経済的な負担の軽減を図り、安心して子どもを産み育てることができる環境づくりのため、中学生以下の兄弟姉妹が3人以上いる多子世帯に対する学校給食費の助成

を、3年度も引き続き実施します。

【学校給食用食材の購入】

学務課（95,355千円）

成長期の子どもたちに必要な栄養を確保し、多種多様な食材を使用した安全・安心で美味しい学校給食を提供するため、学校給食用食材の一部公費購入を、3年度も引き続き実施します。

※1食あたりの公費補助額 小学校 19,25円 中学校 11,83円

◆基本方針4

生涯にわたる豊かな学びを支援します

【かつしか区民大学事業の推進】

生涯学習課（9,418千円）

「かつしか区民大学」は、区が企画する講座、大学などの教育機関との連携・協働講座、区民や団体が企画する講座を実施し、多様な学習を通じて、区民の自己実現を支援します。

また、様々な地域活動や市民活動の担い手・リーダーとして活躍し、地域に貢献できる人材を育成するため、継続的な学びの仕組みづくりを進めます。

【学びの機会の充実】

生涯学習課（2,919千円）

あらゆる世代の区民が充実した人生を生きるため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を拡充します。

また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。

あわせて、オンラインによる講座の開催など、ICTを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

【郷土と天文の博物館展示事業の充実】

生涯学習課（11,615千円）

博物館ボランティアや区民との協働を進めながら、区民ニーズを踏まえた新たなテーマや切り口で、特別展・企画展を開催するとともに、プラネタリウムも、よりクオリティの高い番組を放映します。

また、天文展示室に設けた、セミナーやミニ講座等が開催できるスペースを活用し、天文ボランティアの活動が充実するよう支援します。

さらに、令和2年度にリニューアルした、常設展示室においても博物館ボランティアが、レプリカを使った体験学習やガイドツアーができるような取組を進めていきます。

【文化財の保存及び活用】

生涯学習課（22, 264千円）

区内には、区が指定・登録している文化財のほか、葛飾柴又の文化的景観など、国や都が指定・選定した文化財が存在しています。それらの文化財を有効活用（観光、街づくり）するため、専門家を交えた検討を行います。柴又の文化的景観についても維持・保存ができるように新たな補助制度の創設を検討していきます。

さらに、地域で大切に守り伝えられている文化的資源について、後世に残していくことと、地域文化財としての活用による地域の活性化を目的に「地域文化財制度」の創設・運用を行います。

また、子どもたちの郷土学習における実物の教材としての文化財活用を促進し、区の歴史や文化を感じ、学べるようにします。

【高齢者の健康づくりの推進】

生涯スポーツ課（10, 875千円）

高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツに取り組める環境整備として、区民が定期的に自身の体力状況を把握できるように、年2回の体力テストを実施するとともに、区や地域のイベントに出向き、出前形式でも実施していきます。

また、本区の高齢者推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツを引き続き普及していくほか、ウォーキングやランニングによる健康づくりを推進します。

さらに、高齢者スポーツを支援するための葛飾区公認スポーツ指導委員やスポーツボランティアの育成を図り、活動する場を設けます。

【障害者スポーツの推進】

生涯スポーツ課（6, 483千円）

障害者が自主的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員を養成するとともに、年間を通して指導員と協働して定期的に教室を開催します。

また、パラリンピック公式種目であるボッチャ競技の普及推進を行い、東京2020大会の気運醸成を図るとともに、ユニバーサルスポーツの継続した普及と発展を図ります。

【区民健康スポーツ参加促進事業】

生涯スポーツ課（8, 000千円）

（一社）葛飾区体育協会と協働して、40の加盟団体スポーツ種目を中心に、高齢者・障害者・ジュニア層・子育て中の親子など、あらゆる世代を対象として、運動経験の少ない方や初心者向けのスポーツ教室、体験会などの事業を実施します。

これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。

【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

生涯スポーツ課（384, 570千円）

スポーツ施設を安心して利用できるよう、老朽化に伴う改修や、利便性・安全性を向上

させるとともに、バリアフリーにも配慮した計画的なスポーツ施設の改修などに取り組んでいきます。

3年度は、奥戸総合スポーツセンターエイトホール・野球場改修工事のほか、陸上競技場人工芝充填材入替工事等を行います。

【かつしかふれあいRUNフェスタ2022の開催】

生涯スポーツ課（24,980千円）

子どもから高齢者まで幅広い層の区民が、個人や家族、仲間同士でランナーとして参加できるだけでなく、スタッフや応援者などとして、様々な形でイベントを楽しめる機会を確保し、スポーツ実施率の向上や健康増進をはじめ、多世代の交流や地域の交流などにつながるスポーツイベントとして開催します。

【電子図書館の導入】

中央図書館（10,298千円）

図書館に来館することなく、24時間365日いつでもインターネット上で電子書籍を貸し出すサービスを導入します。電子書籍は貸出期間中、個人のタブレット端末やスマートフォン等から閲覧することができます。

コンテンツ数	3,200冊（※著作権消滅作品等含む）
利用開始	令和3年9月（予定）
貸出冊数	1人2冊まで
貸出期間	14日間

【にいじゅく地区図書館の整備】

中央図書館（118,257千円）

令和3年6月に予定されている東京かつしか赤十字母子医療センター（現：葛飾赤十字産院）の移転・開設に伴い「にいじゅく地区図書館」を、医療センター内に開館します。

産院内の区立図書館という特性を踏まえ、子育て関連の書籍や乳幼児向け絵本の充実、産院との連携事業で出産前の読書支援事業を行うなど、特色ある図書館をめざします。

所在地	新宿3-7-1 （東京かつしか赤十字母子医療センター内）
施設面積	約246㎡
蔵書数	2万冊程度
開館時期	令和3年6月初旬（予定）